

令和4年度 小樽双葉高等学校 学校自己評価書

I 学校教育目標 自分の役割を貫き、新しい価値を創り出し、社会や身近な人に貢献できる力を育てる

- 1 自分力を育てる 自分の本来の可能性を信じ、深め、役割として貫く力を育てる
- 2 考創力を育てる 自ら考え知を鍛え上げ、より高い、新しい価値を創り出せる力を育てる
- 3 共感力を育てる 様々な状況や異なる文化を受け入れ、多様な社会に貢献できる力を育てる

II 自己評価と改善方策

	評価項目	自己評価の結果	改善方策
学 習 指 導	学習指導方法の改善 観点別評価の充実 ICTの活用の充実 1学年特進FTB TIMEの実施	教員と生徒の授業改善の意識にずれ 学習習慣・学習時間の確保に課題 学力向上について取組効果は不明 充実したICTの活用は60%程度 FTB TIMEはおおむね好評価	教科研究会への参加 学習習慣確立方策の具体化 学力向上方策の具体化 ICT活用者による研修 特進会議の定例開催と充実
生 徒 指 導	基本的な学校生活習慣の確立 社会規範意識を高める行事の充実 生徒との信頼関係強化 いじめ・問題行動の初期対応強化	基本的生活習慣の指導は高評価 社会規範意識を高める行事は高評価 おおむね良好な関係である おおむね適切な対応となっている	引き続き学年との連携重視 外部講師2回の交安講話 消費者トラブル防止10月迄 特別支援に係る外部連携 担任任せにしない連携強化
進 路 指 導	入試・模試の情報共有 進路のしおりの発行 スタサポ・模試の結果分析 2年進進コースの主体的選択 進学講習等の充実	大学・進路情報で共有を図った しおりを発行できた 特進で結果分析と対策会議を行った 2年進進コースの目標を明確化した 特進はほぼ全員とっている	年度当初から大学情報提供 しおり活用の研修 進路意識涵養指導の充実 模試分析の活用と情報共有 進進コースの指導法の充実 進学講習と学力向上の検証
特 別 活 動	生徒会活動の取り組み強化 部活動の取り組み強化 学校行事の充実	不十分ながら学校祭は充実した 部活動の活躍が光った 声を出す以外おおむね通常の行事	外部アピールできる学校祭 部活動の活性化とアピール 強歩遠足の検討
入 試 広 報	本校の広報活動の充実 重点地区の広報の充実 広報に関する情報共有の促進	SNS等による広報は充実した 重点地区は十分に意識されていない 活性化委員会による課題整理	ホームページSNSの充実 担当を固定し中学連携強化 活性化委員会の継続
通 信 教 育	教育内容の充実 行事の充実 通信業務の効率化	生徒への粘り強い指導に高評価 担当者による指導に差 特別活動の計画が不十分 業務の属人化と教員間の連携不足	粘り強い指導の継続 指導の基本を全体で共有 年間計画の確認・調整 業務マニュアルの作成・周知
学 校 経 営	信頼される学校づくりの推進 組織活動・連携の強化 研修の充実	スクールミッションの制定 配慮不足の指導言動の防止に努めた 業務継続計画の充実 組織活動・連携が不十分だった 時宜を得た研修として不十分	学校の魅力発信と取組充実 生徒指導提要に関する研修 危機対応意識の強化 部長主幹管理職の連携強化 定例分掌部会の促進 研修委員会による企画強化